

造影CT検査のご案内

様

日本赤十字社 愛知医療センター名古屋第二病院

▼ 検査を受けていただく日時は、

令和 年 月 日 曜日 時 分 です。

※ 検査に必要な手続きとご説明をさせていただきますので、

上記時刻の **30分前** までにお越してください。

(駐車場が狭いため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。)

▼ お越しいただく場所は、

「新患受付」 です (第1病棟1階にございます)。

▼ お持ちいただくものは、

保険証、各種医療証、当院の診察券 (お持ちの方のみ)

画像データ等 (お持ちの方)、**本ご案内**です。

造影CT検査

について

X線を使って、組織間のわずかなX線吸収値の差を検知し、これをコンピューター分析して断層像を得る検査です。

検査の前に放射線科の医師による外来診察があります。

検査時間は10分～15分程度です。

心臓ペースメーカー・埋込み型除細動器 (ICD) をご使用の方はペースメーカー手帳をご持参のうえ、事前にお申し出ください。

〔ご案内〕

1. 腹部 を検査される方は、検査の 2時間前 から何も食べないようお願いします。ただし、水・お茶などの水分摂取の制限はありません。(但し、牛乳・コーヒーは不可)
2. 骨盤部 を検査される方は、検査の 1時間前 からトイレに行かないで膀胱に尿を貯めて下さい。
3. 検査部位の金属等(ヘアピン、義歯、エレキバン、衣服の金属等)は外していただきます。
4. 妊娠中またはその可能性のある方は、検査担当者へお申し出ください。
5. 持続血糖測定器 (CGMまたはFreeStyleリブレ) を装着している方は測定器の取り外しが必要です。そのため新しい測定器を持参して頂き、装着状況について受付時にお申し出下さい。

※ やむを得ず検査をお受けいただけない場合は、ご紹介いただいた先生へお申し出ください。
患者さんから直接ご連絡いただく場合、ご紹介の先生へもお知らせいただくようお願いします。

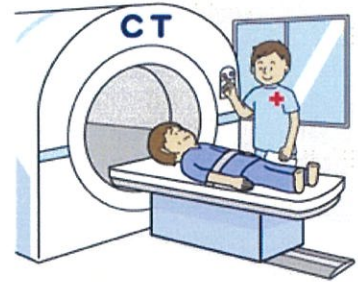
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

患者支援センター 地域医療連携室

TEL 052-832-1121 内線 11651 (受付時間：休診日を除く8時30分から19時)

CT検査の造影剤について

CT検査では、組織をはっきりと写したり臓器の動きが十分に行われているかを調べたりするために造影剤を注射することがあります。造影剤はまれに熱感や、かゆみ、発疹がでたり気分が悪くなったりすることがありますが、一過性のことが多く自然におさまります。造影剤は100～150mlを静脈から注射します。



【造影剤の説明】

病変の性質を調べたり小さな病変を見つけたりするために、検査中にヨード系造影剤を静脈注射します。注射後6時間で約90%が腎臓から尿として排泄され、やがてすべてが体外に排出されます。この造影剤の予期せぬ副作用を完全に回避することはできません。副作用を起こすかどうか前もって調べておく方法がないからです。以前に造影剤を使用して副作用のなかった方でも、今回は副作用が起きる可能性があります。

また“造影剤腎症”と呼ばれる合併症：腎機能がすぐれない方に造影剤を使用した場合、腎機能をさらに悪化させる（中等度腎障害で約3%、高度腎障害で約12%）ことも報告されています。

【造影剤の副作用】

軽微な副作用： 吐き気、嘔吐、動悸、頭痛、ジンマシン（頻度は100人中3人程度）
通常は30分から1時間程度で消失します。

重篤な副作用： 呼吸困難、血圧低下、咽頭浮腫、意識障害（頻度は2万人中1人程度）

遅発性副作用： 数日後に吐き気、嘔吐、かゆみ、ジンマシン（頻度は100人中2人程度）

【造影剤の注射漏れ】

頻度は不明ですが、造影剤が血管外に漏れることがあります。注射した部位の痛みや腫れを伴います。時間がたてば体内に吸収されますので、少量であれば特別な処置は必要ありません。自動注入器を使用して造影剤を急速に静脈注射しますと、多量の造影剤が血管外に漏れることがあります。この場合は、外科的な処置が必要となる場合があります。

【注意事項】

糖尿病薬内服中の方の中で、検査前に内服を中止していただくことがあります。

ご紹介いただいた医療機関の指示に従ってください。

※何か疑問に思われることがありましたら、お問合せ下さい。
画像診断センター CT室（内線30785）